

松島町長期総合計画

後期基本計画

2021-2025

概要版

集い、学び、働き、
笑顔あふれる美しいまち 松島



「集い、学び、働き、笑顔あふれる美しいまち 松島」を目指して

松島町では、平成28年3月にまちづくりの指針である松島町長期総合計画を策定し、10年後の町の将来像を「集い、学び、働き、笑顔あふれる美しいまち松島」と定め、前期基本計画の中で、その実現に向けて各種施策を推進してきたところであります。

しかし、この計画期間中に、少子高齢化や人口減少の更なる進行、厳しい財政環境や、頻発する大きな自然災害に加え、新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、情報通信技術の飛躍的な進歩など、本町を取り巻く社会経済情勢も大きくかつ急激に変化しました。

こうした社会経済情勢の変化などに的確に対応するため、これまでの前期基本計画での取り組みを評価、検証するとともに、世界共通の目標である持続可能な開発目標（SDGs）の理念を踏まえた「松島町長期総合計画後期基本計画」を策定いたしました。

今後は、本計画を新たなまちづくりの指針として位置づけ、住民や事業者、行政等の各主体が役割を分担し、連携・補完し合いながら、「活力あるまち・松島」の実現に向けて各施策を積極的に展開してまいりたいと考えております。

おわりに、本計画の策定にあたりましてご尽力を賜りました、松島町議会、松島町総合計画審議会、松島町まちづくり検討委員会の皆様をはじめ、全世帯意識調査において貴重なご意見をいただきました町民の皆さまにこの場をお借りして心から感謝申し上げます。

松島町長 櫻井公一

目 次

計画策定の趣旨	1
計画の構成と期間	1
基本構想	
計画の基本理念	2
松島町の目指す将来像	2
将来指標	3
重点戦略と基本目標	4
基本計画	
将来像の実現に向けた施策体系	6
分野別計画	11
全世帯意識調査結果	22

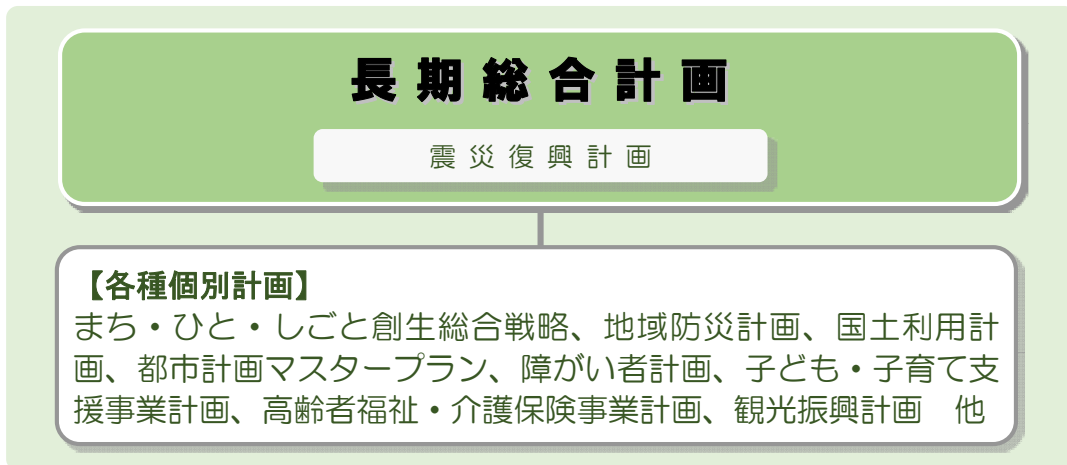


計画策定の趣旨

平成28年度以降の新たな「松島町長期総合計画」は、少子高齢化や人口の減少、地方経済の低迷など、松島町を取り巻く課題を踏まえ、新たな時代の要請や住民ニーズに的確に対応できる総合的かつ戦略的なまちづくりを推進していくための指針として策定したもので、行政運営の基本的な方向性と住民・事業者・町の各主体が担う具体的な取り組みを示しています。

松島町長期総合計画は、町政における最上位の計画となります。

■松島町長期総合計画の位置づけ



計画の構成と期間

松島町長期総合計画の構成と期間を以下に示します。

① 基本構想

基本構想は、町の将来像とその実現に向けた進むべき方向性（基本目標）を明らかにするとともに、将来人口や土地利用を見定め、その実現に向けて政策の大綱を定めるもので、まちづくりの方針となるものです。

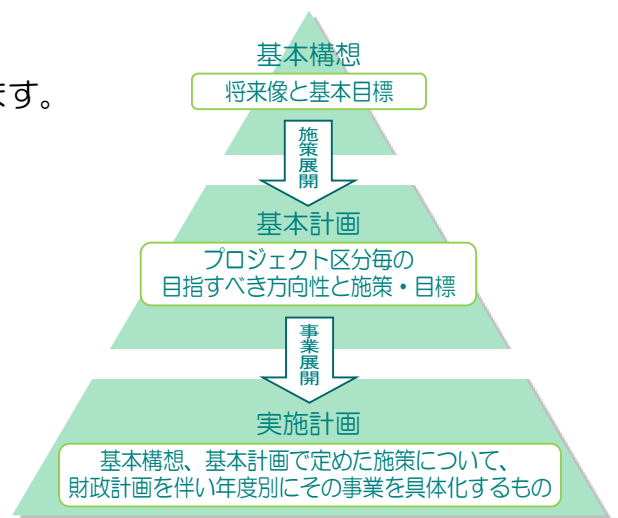
なお、計画期間は、平成28年度から令和7年度までの10年間とします。

② 基本計画

基本計画は、基本構想に掲げた将来像や基本目標を受け、その基本目標を達成するためのプロジェクト区分を設定し、プロジェクト区分に応じた目指すべき方向性や具体的な施策を体系的に定めるものです。また、施策毎に目標や指標を定め、計画の実効性を高めるとともに、施策の進捗状況を適切に管理します。

また、まちの将来像の実現にあたっては、持続可能な開発目標（SDGs）の理念を踏まえながら、将来世代が希望を持ち続けることが出来る持続可能なまちづくりを進めていく必要があります。

なお、計画期間は、前期基本計画を平成28年度から令和2年度までの5年間、後期基本計画を令和3年度から令和7年度までの5年間とします。



■松島町長期総合計画の構成

基本構想

※基本構想の文中の平成37年は、令和7年に読みかえていただくようお願いいたします。

1. 計画の基本理念

松島の歴史は古く、縄文時代の痕跡を示す貝塚や遺跡が松島湾沿岸に点在しています。平安時代から歌枕の地として知られ、中世には円福寺・雄島を中心に霊場として全国に名を広め、江戸時代には伊達政宗が瑞巖寺を造営し、安芸の宮島、丹後の天橋立とともに日本三景の一つとしての認識が始まりました。大小様々な形の松の生えた島々を有する静かな湾と、湾を囲む丘陵が織りなす独特の自然景観のもと、特に松尾芭蕉の「おくのほそ道」に紹介されてから、多くの人々が訪れることとなり遊覧の地として栄え、現在においても、多くの歴史的建造物や、各地区に伝わる祭、瑞巖寺大施餓鬼会などの行事、牡蠣や焼きハゼ等の魚介類をはじめとする名産品など、多様な文化が引き継がれています。

全国的に人口減少・少子高齢化の時代を迎え、松島町においても人口減少・少子高齢化が顕在化しており、持続可能な発展を継続し、住民が安心して働き、潤いのある豊かな生活を営んでいくためには、松島町の特徴を生かした魅力あふれる自立したまちづくりが求められています。

このため、松島町の豊かな自然・景勝や歴史的建造物、伝統的な文化など、松島ならではの「歴史・文化」を次世代に継承していくとともに、産業や地域づくりの一翼を担う人材の育成に努め、松島らしい新たな「歴史・文化」を創造していく必要があります。こうした取り組みは10年間の計画期間のみならず、長期的な視野のもとで継続的に実施していく必要があることから、「歴史・文化の継承と創造」を基本理念として設定します。



■観覧亭（県指定有形文化財）

2. 松島町の目指す将来像

将来像は、10年後の松島町の望ましい姿を実現していくという全住民の目標であることから、住民・事業者・行政の各主体が連携を図りながら、日々の暮らしの中において、将来像の実現に向けた取り組みを推進していく必要があります。このため、松島町の将来像を身近な日常の暮らしに関わる目標と捉え、以下のように設定します。

集い、学び、働き、笑顔あふれる美しいまち 松島

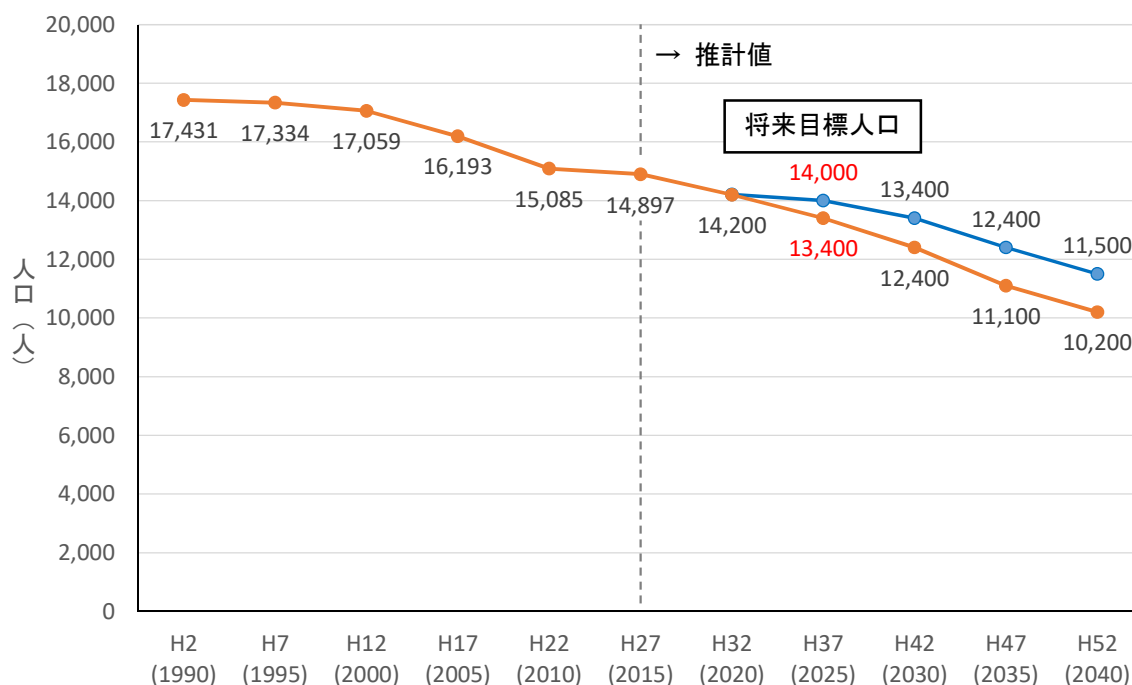
3. 将来指標

松島町の人口は年々減少しており、10年後の平成37年の将来人口推計結果は、特別な人口対策を行わない場合、約13,400人まで減少することが見込まれます。このため、若者の定住促進に向け、住宅地の開発とあわせ、福祉や教育等を充実させることで人口減少を抑制し、平成37年の将来目標人口を以下のように設定します。

平成37年度の目標を

人口 **14,000人** とします。

■将来目標人口



● 将来目標人口 (将来人口推計結果に住宅地の開発による政策的増加人口約600人を加えた目標値)

○ 将来人口推計結果 (まち・ひと・しごと創生本部事務局の推計方法に基づく松島町独自推計結果)



4. 重点戦略と基本目標

① 重点戦略

町の将来像を実現するためには、人口減少や少子高齢化が顕在化している松島町の現状や国際観光都市に位置づけられる松島町の特徴を踏まえると、「若者の定住の促進」、「地域の実情に応じた子育て支援」、「観光客と住民等の交流の促進」が重要課題となります。

このため、「定住」、「子育て」、「交流」を重点戦略と定め、重点的に施策を展開していきます。

重点戦略①

定住

松島を訪れた方に「いつかは住んでみたい」と感じてもらえ、また、住民の方が安心して「いつまでも住み続けたい」と思えるまちの形成を目指し、震災復興を推進するとともに、住環境の充実、防災体制の強化に努めます。



■くぬぎ台住宅団地

重点戦略②

子育て

松島で暮らす住民の方が安心して子どもを産み育てられ、ふるさとに誇りを持ち地域づくりの一翼を担う人材を育むことができるまちの形成を目指し、子育て支援の充実、教育環境の向上に努めます。



■親子のふれあい活動

重点戦略③

交流

観光が盛んな海岸部の住民の方だけでなく、町全体での協働により「おもてなしの心」を育み、松島を訪れた方が「何度も訪れたい」と感じてもらえるまちの形成を目指し、観光交流の推進、産業間の連携強化、地域コミュニティの強化に努めます。



■まつの市

② 基本目標

町の将来像を実現するために、6つの分野ごとにそれぞれ基本目標を設定し、計画の柱として位置づけます。

■ 基盤整備分野

① 心地よく元気な暮らしを支えるまちづくり

- 誰もが快適に**心地よく**、明るく**元気**にすごせるまちづくり
- 住み心地の良い魅力的な**暮らしを支える**まちづくり



■ 環境、安全・防災分野

② 人・まち・自然、ふれあい安らぐまちづくり

- **ふれあい**を大切にし、**人・まち・自然**が共生するまちづくり
- 住民や松島を訪れる方が安心して**安らぐ**ことができるまちづくり



■ 福祉・保健・医療分野

③ 心も体もすこやかに笑顔あふれるまちづくり

- 住民が生涯にわたり**心も体もすこやかに**暮らせるまちづくり
- 住民が幸せを実感し、**笑顔**を発信することができるまちづくり



■ 教育分野

④ 自然と歴史に学び、豊かさを育み広げるまちづくり

- **自然と歴史**を通じてふるさとを**学び**、郷土愛が育めるまちづくり
- 知識や人を思いやる気持ちなど、**豊かさ**を**育み**・世界に**広げる**まちづくり



■ 観光、歴史・文化分野

⑤ おもてなしの心を育み、愛されるまちづくり

- 町全体で**おもてなしの心**を**育み**・共有することができるまちづくり
- 観光客、住民、松島で働く人など、誰からも**愛される**まちづくり



■ 産業振興、行政運営、コミュニティ分野

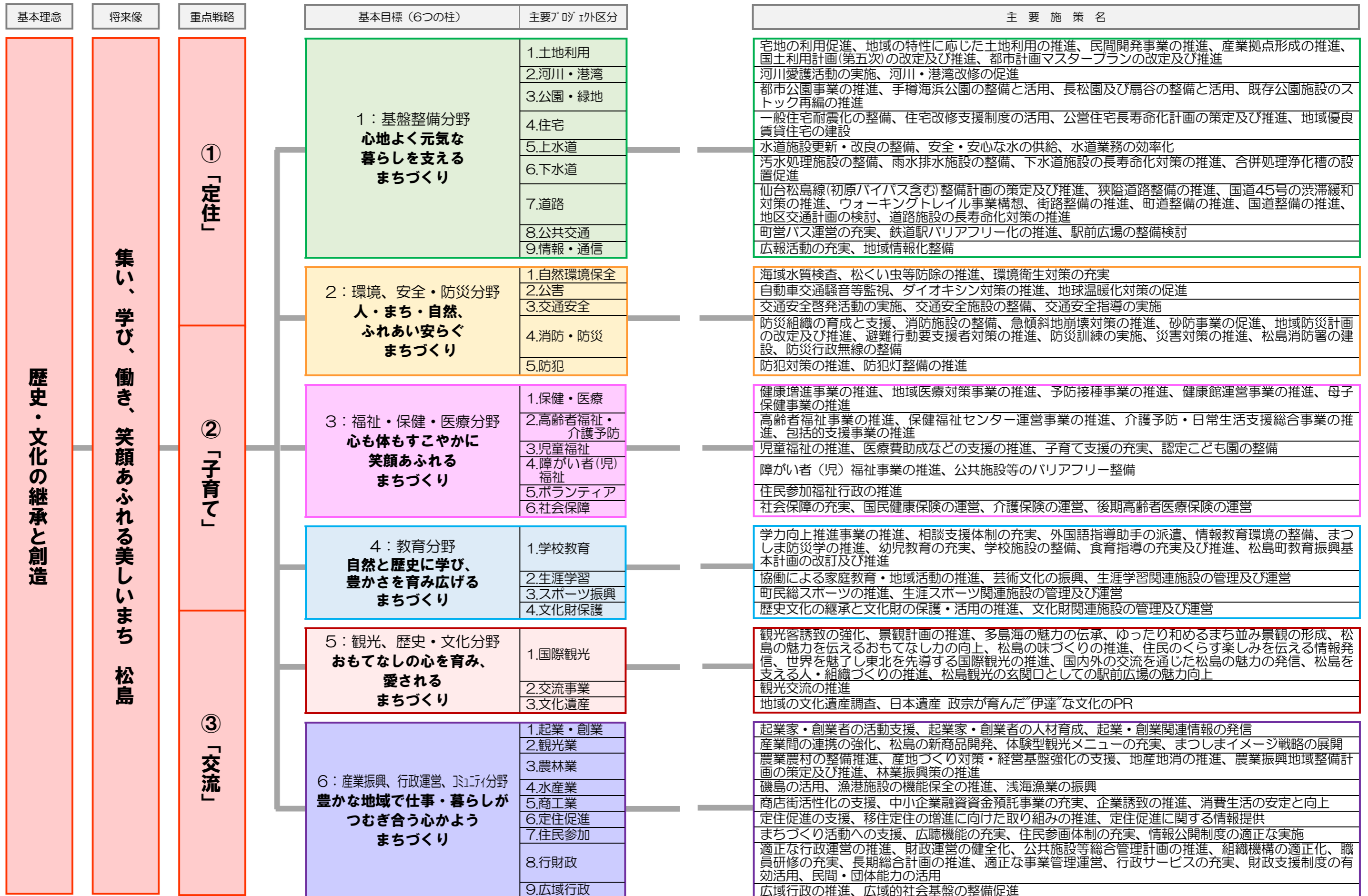
⑥ 豊かな地域で仕事・暮らしがつむぎ合う心かようまちづくり

- 事業者・住民・行政が**つむぎ合う**協働のまちづくり
- 松島で働く人・住む人など、人と人の**心かよう**温かいまちづくり



基本計画

1. 将来像の実現に向けた施策体系



2. SDGsの概要

① SDGsとは

SDGsとは、「誰一人取り残さない」持続可能でよりよい社会の実現を目指す世界共通の目標である。2015年の国連サミット*において全ての加盟国が合意し、2030年を達成年限としています。

この共通目標に取り組むため、「普遍性」、「包摂性」、「参画型」、「統合性」、「透明性」の5つの特徴を有しています。

② 持続可能な開発目標（SDGs）の詳細

【17の国際目標】

① 貧困



② 飢餓



③ 保健



④ 教育



⑤ ジェンダー



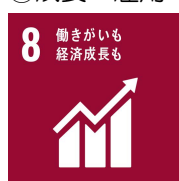
⑥ 水・衛生



⑦ エネルギー



⑧ 成長・雇用



⑨ 技術革新



⑩ 不平等



⑪ 都市



⑫ 生産・消費



⑬ 気候変動



⑭ 海洋資源



⑮ 陸上資源



⑯ 平和



⑰ 実施手段



③ 後期基本計画へのSDGsの位置づけ

宮城県では、令和2年12月に策定した「新・宮城の将来ビジョン」の中で、県民一人ひとりがSDGsの達成に向けて取り組むことが重要であると位置づけており、宮城県が目指す姿を分かりやすく住民と共有するとともに、世界の目標であるSDGsの達成につながっている認識を深め、あらゆる主体の参画、連携・協働を促進していくこととしています。

松島町長期総合計画における各施策の方向性は、SDGsの目的である「持続可能な社会の実現」と結びつくものであることから、後期基本計画においても、SDGsの視点を取り入れて策定します。（主要プロジェクト区分ごとに該当するSDGsについてはP9を参照）

*用語解説：国連サミット

ニューヨークの国連本部において2015年9月に開かれた、環境問題と持続可能な開発に関する国連主催の国際会議のことで...

④ 主要プロジェクト区分と該当するSDGsの対応

主要プロジェクト区分	該当するSDGs																
1.土地利用	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
2.河川・港湾	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
3.公園・緑地	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
4.住宅	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
5.上水道	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
6.下水道	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
7.道路	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
8.公共交通	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
9.情報・通信	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1.自然環境保全	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
2.公害	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
3.交通安全	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
4.消防・防災	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
5.防犯	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1.保健・医療	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
2.高齢者福祉・介護予防	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
3.児童福祉	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
4.障がい者(児)福祉	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
5.ボランティア	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
6.社会保障	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1.学校教育	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
2.生涯学習	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
3.スポーツ振興	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
4.文化財保護	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1.国際観光	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
2.交流事業	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
3.文化遺産	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1.起業・創業	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
2.観光業	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
3.農林業	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
4.水産業	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
5.商工業	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
6.定住促進	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
7.住民参加	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
8.行財政	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
9.広域行政	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

3. 分野別計画

6つの分野ごとに、まちづくりの課題と目指すべき方向を整理し、基本目標を達成するための主要な施策とまちづくりの主な目標を示します。

1. 心地よく元氣な暮らしを支えるまちづくり 【基盤整備分】

まちづくりの課題

- 国道45号の渋滞や狭隘な道路の解消、駅のバリアフリー化※、身近な公園の整備、下水道普及率の向上など、住民の生活環境に関する基盤整備の充実
- 松島を訪れる方がゆっくり歩いて楽しめる歩行者空間の整備や駐車場対策、災害時の安全確保など、観光客を対象とした基盤整備の充実



■松島海岸駅整備イメージ

住民や松島町を訪れる方が快適にいきいきとすごせる環境整備に努め、住み心地の良い魅力的なまちづくり

※用語解説：バリアフリー化

障がいをもつ方や高齢の方などが、社会生活に参加するうえでの生活の支障となる物理的な障害や、精神的な障壁を取り除くことです。

目指すべき方向

1-1 土地利用

⇒人と自然が調和した住み心地の良いまちを目指します

1-2 河川・港湾

⇒快適に心地よくすごせる水辺空間を保全・創出します

1-3 公園・緑地

⇒安心して明るく元気にすごせる公園・緑地空間を創出します

1-4 住宅

⇒自然環境に配慮した誰もが安心して暮らせる住環境の形成を目指します

1-5 上水道

⇒良質な水の安定供給に努めます

1-6 下水道

⇒下水道施設の計画的な整備により快適で安全安心な生活環境を保全します

1-7 道路

⇒運転者、歩行者の誰もが安全に利用できる道路空間を形成します

1-8 公共交通

⇒住民や松島を訪れる方の利便性を高める公共交通ネットワークを確立します

1-9 情報・通信

⇒時代に対応した情報通信網の充実に努めます



主要な施策

1-1 土地利用

- ①宅地の利用促進
- ②地域の特性に応じた土地利用の推進
- ③産業拠点形成の推進 等

1-2 河川・港湾

- ①河川愛護活動の実施
- ②河川・港湾改修の促進

1-3 公園・緑地

- ①都市公園事業の推進
- ②手樽海浜公園の整備と活用
- ③長松園及び扇谷の整備と活用 等

1-4 住宅

- ①一般住宅耐震化の整備
- ②住宅改修支援制度の活用
- ③公営住宅長寿命化計画の策定及び推進

1-5 上水道

- ①水道施設更新・改良の整備
- ②安全・安心な水の供給
- ③水道業務の効率化

1-6 下水道

- ①汚水処理施設の整備
- ②雨水排水施設の整備
- ③合併処理浄化槽の設置促進 等

1-7 道路

- ①狭隘道路整備の推進
- ②国道45号の渋滞緩和対策の推進
- ③町道整備の推進 等

1-8 公共交通

- ①町営バス運営の充実
- ②鉄道駅バリアフリー化の推進
- ③駅前広場の整備検討

1-9 情報・通信

- ①広報活動の充実
- ②地域情報化整備

まちづくりの主な目標



主な施策	指標	現状 (R2)	目標 (R7)
宅地の利用促進	空き家バンク※登録件数	延べ74件	延べ100件
鉄道駅バリアフリー化の推進	バリアフリー化駅数	1駅整備中	2駅
地域情報化整備	オープンデータ公表ページへのアクセス数(月平均)	実施検討中	500件

※用語解説：空き家バンク

空き家となっている家屋や、賃貸住宅、宅地として利用できる土地等の情報を提供することにより、住宅、土地などを探している方にこれらの情報を提供し、空き家等の有効活用と地域の活性化を図ることを目的に実施するものです。

2. 人・まち・自然、ふれあい安らぐまちづくり

【環境、安全・防災分】

まちづくりの課題

- 豊かな自然環境を背景とした良好な景観の保全、松くい虫等の継続的な対策による松等の保全
- 東日本大震災の教訓を踏まえ、観光客の避難を含め、地域における自助・共助・公助*による防災体制の確立、及び避難場所や避難施設等の適正な維持管理を行っていきます。



■交通安全運動街頭指導

古くから引き継がれてきた松島町の豊かな自然と共生を図りながら、地域が一体となった継続的な防災・防犯対策の推進れる人々が安心してすごせるまちづくり

※用語解説：自助・共助・公助

自助は他人の力を借りることなく自ら（家族も含む）自分の身を助けること。共助は企業内の人や近隣住民が共に助けあうこと。公助は行政、消防、警察などによる救助・支援のことです。

目指すべき方向

2-1 自然環境保全

⇒循環型のまちづくりを推進し、松島の良好な自然環境を保全します

2-2 公害

⇒住民が健康で安心して暮らせる生活環境を維持します

2-3 交通安全

⇒交通安全に対する意識と交通環境の改善に努めます

2-4 消防・防災

⇒住民が安心して暮らせる防災体制を確立します

2-5 防犯

⇒子どもや地域の住民が安全に暮らせる防犯体制を確立します



■松島町の自然景観



主要な施策

2-1 自然環境保全

- ①海域水質検査
- ②松くい虫等防除の推進
- ③環境衛生対策の充実

2-2 公害

- ①自動車交通騒音等監視
- ②ダイオキシン対策の推進
- ③地球温暖化対策の促進

2-3 交通安全

- ①交通安全啓発活動の実施
- ②交通安全施設の整備
- ③交通安全指導の実施

2-4 消防・防災

- ①防災組織の育成と支援
- ②避難行動要支援者対策の推進
- ③災害対策の推進 等

2-5 防犯

- ①防犯対策の推進
- ②防犯灯整備の推進



■住民等による清掃活動

まちづくりの主な目標

主な施策	指標	現状 (R2)	目標 (R7)
松くい虫等防除の推進	伐倒駆除本数、材積（年、m ³ ）	723本、662m ³	570本、500m ³
避難行動要支援者対策の推進	避難行動要支援者避難プランの作成率	5.6%	10%
防災行政無線の整備	受信可能エリアのカバー率	90%	100%



■松くい虫防除事業



■安全・安心パトロール

3. 心も体もすこやかに笑顔あふれるまちづくり

【福祉・保健・医療分野】

まちづくりの課題

- 晩婚化・未婚化の影響や核家族化等による保育需要の多様化に対応する保育サービスや教育環境の充実
- 各種健診等による健康増進や疾病予防に努めるほか、地域医療、高齢者福祉及び介護予防に関する各種サービスの充実、及び新型コロナウイルスをはじめとする感染症の感染拡大に対応した医療体制の整備



■e-styleで健康づくりストレッチ



すべての住民が生涯にわたり安心していきいきと暮らせるよう福祉・保健・医療の連携を図りながら、各ライフサイクルにあった保健活動を展開し、安心して子どもを産み育てられ、高齢者が元気で生きがいを見つけることができるようなまちづくり

目指すべき方向

3-1 保健・医療

⇒住民が安心して健康的に暮らせる保健・医療体制の充実を図ります

3-2 高齢者福祉・介護予防

⇒高齢者が安心して暮らせるまちを目指します

3-3 児童福祉

⇒安心して子育てできる環境整備に努めます

3-4 障がい者(児)福祉

⇒障がいのある方が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちを目指します

3-5 ボランティア

⇒住民が笑顔で支え合うまちを目指します

3-6 社会保障

⇒住民が安心して暮らせる社会保障を確立します



■児童館での子育て支援事業



主要な施策

3-1 保健・医療

- ①健康増進事業の推進
- ②地域医療対策事業の推進
- ③母子保健事業の推進 等

3-2 高齢者福祉・介護予防

- ①高齢者福祉事業の推進
- ②介護予防・日常生活支援総合事業の推進
- ③包括的支援事業の推進 等

3-3 児童福祉

- ①児童福祉の推進
- ②医療費助成などの支援の推進
- ③子育て支援の充実

3-4 障がい者(児)福祉

- ①障がい者(児)福祉事業の推進
- ②公共施設等のバリアフリー整備

3-5 ボランティア

- ①住民参加福祉行政の推進

3-6 社会保障

- ①国民健康保険の運営
- ②介護保険の運営
- ③後期高齢者医療保険の運営 等

まちづくりの主な目標



主な施策	指標	現状(R2)	目標(R7)
健康増進事業の推進	特定健診受信率	49%	60%
認定こども園の整備	認定こども園開所数	0園	1園
住民参加福祉行政の推進	ボランティア登録者数	425人	600人



■まつしま元気塾交流会



■認定こども園整備イメージ

4. 自然と歴史に学び、豊かさを育み広げるまちづくり

【教育分】

まちづくりの課題

- 園児・児童・生徒数の推移を考慮した教育体制のあり方の検討、幼少期からの教育の質の向上、地域や家庭、幼・保・小・中・高の連携の強化、情報通信技術（ICT）の普及に適應した新たな情報環境の整備
- 多様化する住民ニーズに対応する生涯学習に関するソフト事業の推進、地域間・世代間交流の促進、スポーツを通じた健康増進



■小学校の運動会



すべての住民がふるさとに誇りを持ち郷土愛を育めるよう、学校教育や生涯学習を通じて、松島の豊かな自然や歴史に学び、グローバル化への対応や地域づくりの一翼を担う人材を育成することができるまちづくり

目指すべき方向

4-1 学校教育

⇒自然や歴史に学び豊かさを育むことができる教育環境を目指します

4-2 生涯学習

⇒子どもから高齢者まで誰もが自発的学習に取り組めるまちを目指します

4-3 スポーツ振興

⇒スポーツ振興により住民の健康増進と地域間・世代間交流を促進します

4-4 文化財保護

⇒歴史や文化に対する住民の理解を深め、住民と一体となって次世代に継承します



■松島まるごと学（瑞巖寺の歴史を知ろう）



主要な施策

4-1 学校教育

- ①学力向上推進事業の推進
- ②相談支援体制の充実
- ③情報教育環境の整備 等

4-2 生涯学習

- ①協働による家庭教育・地域活動の推進
- ②芸術文化の振興
- ③生涯学習関連施設の管理及び運営

4-3 スポーツ振興

- ①町民総スポーツの推進
- ②生涯スポーツ関連施設の管理及び運営

4-4 文化財保護

- ①歴史文化の継承と文化財の保護・活用の推進
- ②文化財関連施設の管理及び運営

まちづくりの主な目標



主な施策	指標	現状 (R2)	目標 (R7)
松島町教育振興基本計画の改訂および推進	教育振興基本計画の見直し	—	1回
協働による家庭教育・地域活動の推進	ジュニア・リーダー※活動回数（年）	6回	10回
歴史文化の継承と文化財の保護・活用の推進	一般向け歴史文化関連事業開催回数（年）	4回	20回



■巡回小劇場



■松島ハーフマラソン

※用語解説：ジュニア・リーダー
子ども会を中心に地域活動を行う青少年のことです。

5. おもてなしの心を育み、愛されるまちづくり

【観光、歴史・文化分野】

まちづくりの課題



■観瀾亭（県指定有形文化財）

- 国際観光都市として、東北の観光を先導する役割を果たす取り組み
- 松島町の豊かな自然・景勝や歴史的建造物の保全、国際的な観光ブランドイメージの強化、観光拠点の整備の推進、住民・民間・団体・行政等の協働による持続可能な観光振興



松島町の恵まれた自然や、自然と歴史が調和した美しい景観を次世代に継承していくとともに、住民一人一人が「おもてなし*」に通じる美しい心を育み、松島を訪れた人々が「再び訪れたい」、「松島に住んでみたい」と感じてもらえるようなまちづくり

※用語解説：おもてなし

相手に対し、心のこもった待遇や歓待やサービスをすることです。

目指すべき方向

5-1 国際観光

⇒すべての住民が「おもてなし」の心を育み、誰からも愛されるまちを目指します

5-2 交流事業

⇒国際交流や地域間交流を通して豊かさを育めるまちを目指します

5-3 文化遺産

⇒日本遺産*の登録を推進し、松島の歴史文化の魅力を広く発信します



■瑞巖寺落慶法要*



※用語解説：落慶法要

寺院の新築・修復を祝う式典のことです。

※用語解説：日本遺産

文化庁が認定した地域の歴史的な魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーのことです。

主要な施策

5-1 国際観光

- ①観光客誘致の強化
- ②ゆったり和めるまち並み景観の形成
- ③世界を魅了し東北を先導する国際観光の推進 等

5-3 文化遺産

- ①地域の文化遺産調査
- ②日本遺産 政宗が育んだ“伊達”な文化のPR

5-2 交流事業

- ①観光交流の推進

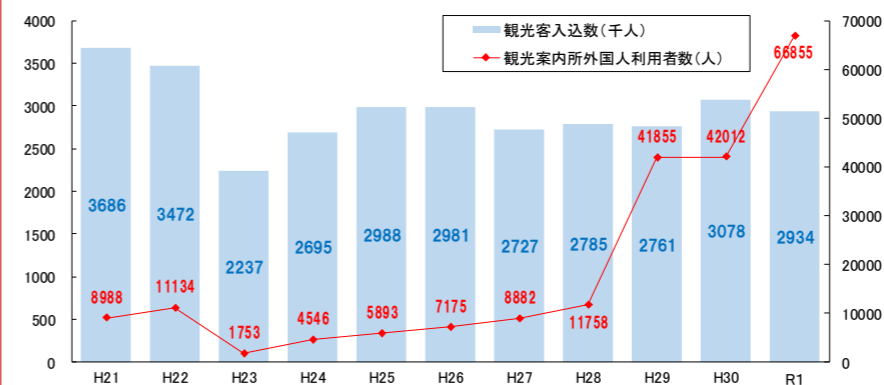
まちづくりの主な目標



■松島湾

主な施策	指標	現状 (R2)	目標 (R7)
観光客誘致の強化	観光客入込数(年)	161万人	300万人
松島観光の玄関口としての駅前広場の魅力向上	松島海岸駅の駅前広場の事業検討及び整備	0駅	1駅
地域の文化遺産調査	調査成果の発信回数(年)	15回	30回

■観光案内所外国人利用者数の推移



■松島町を訪れる観光客

6. 豊かな地域で仕事・暮らしが つむぎ合う心かようまちづくり

【産業振興、行政運営、コミュニティ分】

まちづくりの課題

- 住民・事業者・行政の連携に基づく新たな観光資源の開拓や仕組みづくり
- 地域のイベントなどに関する情報発信や地域を担う人材育成、地域の防災や福祉等についての連携強化



■松島流灯会海の盆



松島の豊かな地域資源をもとに育まれた産業（事業者）やコミュニティ（住民）、行政が互いに高め合い、連携を図りながら、心が通いあうまちづくり

目指すべき方向

6-1 起業・創業

⇒松島の特色を生かした起業家・創業者を育成・支援します

6-2 観光業

⇒産業間の連携による松島の特色を生かした観光のまちを目指します

6-3 農林業

⇒安定した農林業の振興を図ります

6-4 水産業

⇒付加価値の高い水産業の振興を図ります

6-5 商工業

⇒松島の特色を生かした活力ある商工業の振興を目指します

6-6 定住促進

⇒若者が暮らしやすい活気あるまちを目指します

6-7 住民参加

⇒住民・団体・民間等と町の協働を進め心がかよいあうまちを目指します

6-8 行財政

⇒効果的かつ効率的な行政運営の仕組みを確立します

6-9 広域行政

⇒多方面における広域行政の連携を強化します



■移住された方々とまちづくりを考えるワークショップ

主要な施策

6-1 起業・創業

- ①起業家・創業者の活動支援
- ②起業家・創業者の人材育成
- ③起業・創業関連情報の発信

6-2 観光業

- ①産業間の連携の強化
- ②松島の新商品開発
- ③体験型観光メニューの充実 等

6-3 農林業

- ①産地づくり対策・経営基盤強化の支援
- ②地産地消の推進
- ③林業振興策の推進 等

6-4 水産業

- ①磯島の活用
- ②漁港施設の機能保全の推進
- ③浅海漁業の振興

6-5 商工業

- ①商店街活性化の支援
- ②企業誘致の推進
- ③消費生活の安定と向上 等

6-6 定住促進

- ①定住促進の支援
- ②移住定住の増進に向けた取り組みの推進
- ③定住促進に関する情報提供

6-7 住民参加

- ①まちづくり活動への支援
- ②住民参画体制の充実
- ③情報公開制度の適正な実施 等

6-8 行財政

- ①適正な行政運営の推進
- ②財政運営の健全化
- ③適正な事業管理運営 等

6-9 広域行政

- ①広域行政の推進
- ②広域的な社会基盤の整備促進

まちづくりの主な目標



主な施策	指標	現状(R2)	目標(R7)
起業家・創業者の活動支援	創業数(年)	2件	2件
移住定住の増進に向けた取り組みの推進	首都圏からの転入者数(年)	22人	25人
住民参画体制の充実	ワークショップの開催回数(年)	2回	5回

全世帯意識調査結果

1-1 調査の概要

本調査は、現在の町民の意向を把握し、長期総合計画の基本計画に係る諸施策にその意向を反映させ、町民と町が一体となって計画を策定、推進していくことを目的に実施しました。

表1：調査概要（調査票回収状況）

調査期間	令和元年9月1日～9月30日
調査対象	松島町内の全世帯：5,297世帯
発送票数	5,327票（前回 5,297票）
回収票数	1,343票（前回 1,276票）
回収率	25.2%（前回 24.1%）

1-2 調査結果の概要

(1) 松島町への愛着度（図1参照）

「愛着を感じている」、「どちらかといえば愛着を感じている」、「普通」とした人が約9割を占め、愛着を感じている人が多くなっています。

(2) 松島町の住みやすさの評価（図2参照）

（重点戦略：定住）

「住みやすい」、「どちらかといえば住みやすい」、「普通」とした人が約7割を占め、住みやすいと感じている人の方が多いが、前回調査時と比べると減少傾向にあります。

「住みやすさ」に関しては、「50歳以上」、「松島、高城、本郷、磯崎」、「団体職員・団体役員、農林業」ほど住みやすさを感じている傾向が見られました。

⇒若者や農村部の方、第二次・三次産業従事者などに、定住意向を高める取り組みを継続させることが求められています。

(3) 子育て支援に関する評価（図3参照）

（重点戦略：子育て）

「普通」とした人が約5割を占め、「充実していると感じる」と「充実していると感じない」の割合はほぼ同程度となっています。

「子育て支援」に関しては、「20代、40代」は充実していると感じている傾向が見られた一方で、「30代」は充実しているとは感じていない傾向が見られました。

⇒子育て世代全体に向けた子育て支援に関する取り組みの充実化が求められています。

(4) 地域・観光交流に関する評価（図4参照）

（重点戦略：交流）

「充実しているとは感じない」、「どちらかといえば充実しているとは感じない」とした人が約3割を占め、充実していると感じている人が多くなっています。

「地域・観光交流」に関しては、「40歳以上」、「下竹谷、根廻」「農林業以外の職業」ほど充実していないと感じている傾向が見られました。

⇒幅広い世代や町全体を巻き込んだ交流機会の創出に関する取り組みが求められています。分野別の取り組み（52項目）のうち、特に重要と思う取り組みとしては、図7に示す取り組みが多くなっています。

※グラフの（ ）内は前回調査時との増減を示す。
※アンケート調査における「普通」は、「5段階評価の真ん中」であり、統計的に点数化した場合には中間値、平均値を示し、否定的指標である「標準以下」ではないことから、肯定的な回答として分析を行った。

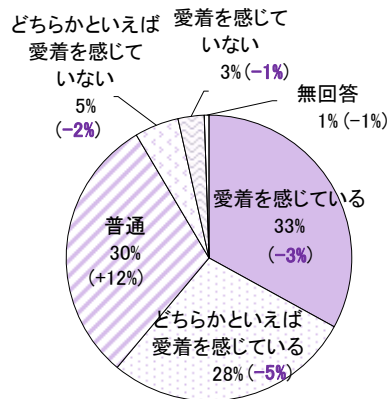


図1：愛着度

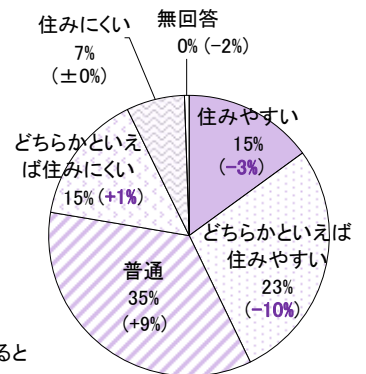


図2：住みやすさ

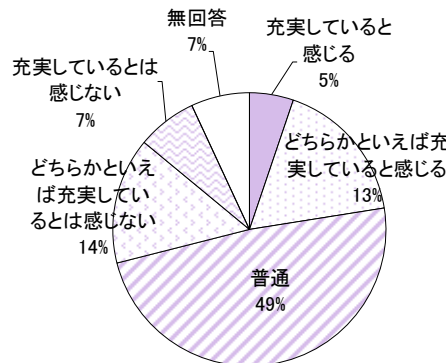


図3：子育て支援

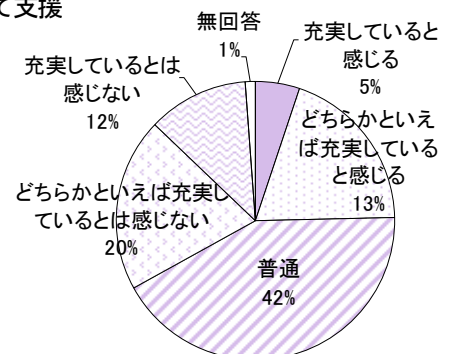


図4：地域・観光交流

(5) 町の取り組みに関する重要度と満足度の評価

(図5参照)

現行計画における各分野の取り組み(54項目)の重要度及び満足度の平均を基準とし、各分野の取り組みを4つのエリアに分類しました。特に、重要度が高く満足度が低いと評価された「優先性の高い取り組み」は、以下の取り組みが抽出されました。

《優先性の高い取り組み》

- ①住みよい居住環境とするための有効な土地利用
 - ②身近な生活道路の整備や管理(町道等)
 - ③松島町の玄関口としての「松島駅・松島海岸駅」の整備
 - ④医療機関の充実や緊急医療体制の強化
 - ⑤福祉、教育、産業振興など総合的な観点での定住促進策
- ⇒前回調査時は、「風水害への対策」が抽出されていましたが、復興事業の進捗に伴い軽減されたと考えられます。一方で、新たに「定住促進策」に対して関心が高まっている傾向が見られます。

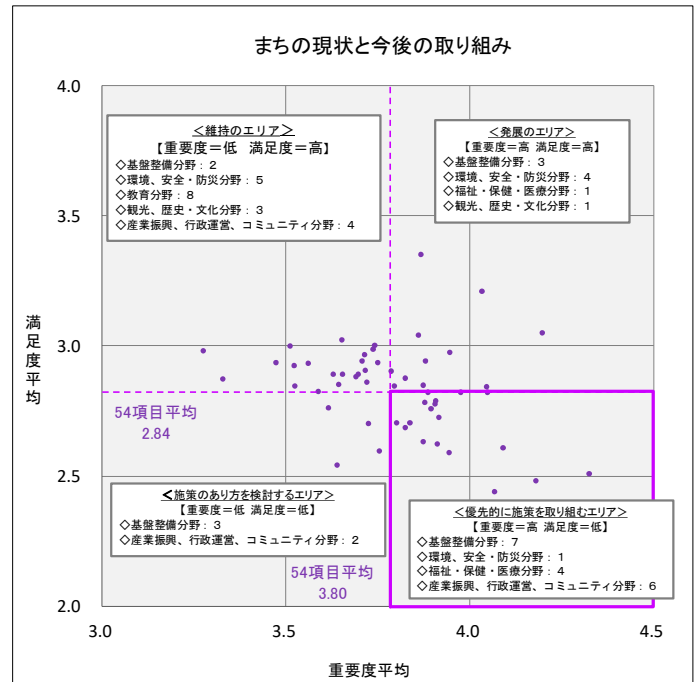


図5：「今後の重要度」、「現状の満足度」の評価

(6) 特に重要と思う取り組み (図6参照)

分野別の取り組み(54項目)のうち、特に重要と思う取り組みとしては、図7に示す取り組みが多くなっています。

前項で示した「優先性の高い取り組み」が上位を占めている中において、「優先性の高い取り組み」に位置付けられていない「安心して子育てできる環境整備」や「高齢者・障がい者のための福祉サービス」についても重要な取り組みと感じている人が多い傾向が見られました。

⇒福祉・保健・医療分野に関する取り組みの推進が強く求められています。

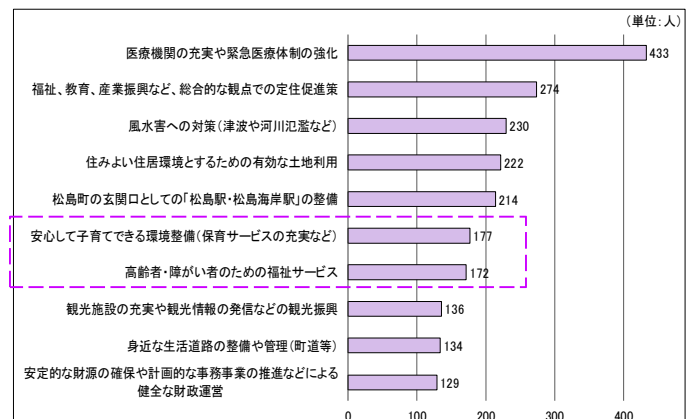


図6：特に重要と思う取り組み(上位10項目)

(7) 町民活動への参加 (図7参照)

町民活動として、実際に参加したことのある取り組みは、「ごみの分別・減量、リサイクルなどの取り組み(831人)」、「地域の環境衛生活動(清掃活動や不法投棄の監視など)(718人)」、「地域における防災・防犯活動(防災訓練や子どもの見守り活動など)(497人)」、「地域における防災・防犯活動(防災訓練や子どもの見守り活動など)(497人)」が多くなっています。

町民活動に参加している人については、「60歳以上」、「松島、高城、本郷、磯崎」ほどより多くの取り組みに参加している傾向が見られます。⇒幅広い世代や、地域単位で一体となって取り組める町民活動が求められています。

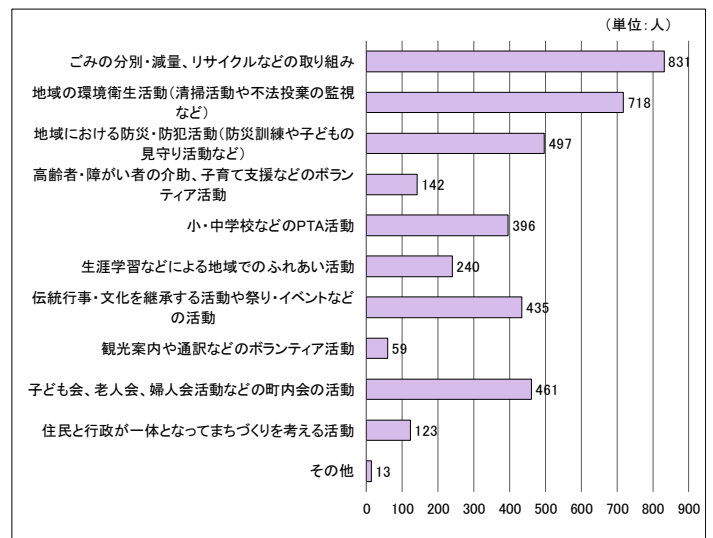


図7：参加したことがある町民活動の取り組み

(8) 重点戦略に関する意見・要望

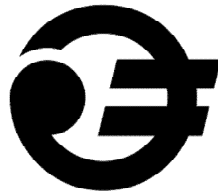
重点戦略	主な意見・要望
定住	<ul style="list-style-type: none"> ・定住促進に向けた具体的な施策を明確にして欲しい。 ・企業誘致等の若年層の定住促進に向けた取り組みを推進するべきである。 ・大型、小型問わず商業施設を増やして欲しい。 ・住宅建築が可能となるエリアが増えるよう規制緩和して欲しい。 ・空き地及び空き家を有効活用して欲しい。
子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもが遊べる施設や公園を増やして欲しい。 ・小児科等の医療施設を増やして欲しい。 ・夜間保育等、子育て世代への支援を充実させて欲しい。
交流	<ul style="list-style-type: none"> ・国内外に観光情報を積極的に発信して欲しい。 ・町外より移住した場合、以前から町内に在住している住民とのコミュニケーションがとりにくい。 ・町民の誰もが参加できる交流事業を推進して欲しい。

(9) まちづくりに関する意見・要望

主要な区分	主な意見・要望
【基盤整備分野】	意見数：372
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> ・日用品を買える商業施設（スーパー）が町内に少ない。 ・積極的に松島町へ企業誘致をして、町の活性化をしてほしい。 ・観光に力を入れるのはいいが、住民の暮らしやすさにも力を入れてほしい。
道路	<ul style="list-style-type: none"> ・道路脇や歩道の雑草が至るところで目立つ。適切な維持管理をしてほしい。 ・側溝が無い道にも側溝が欲しい。蓋が無い箇所もあり危険である。
公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の利用手段として、町民バスの運行方法を見直してほしい。 ・松島駅、松島海岸駅のバリアフリー化（エレベーター）に取り組んでほしい。
【福祉・保健・医療分野】	意見数：152
保健・医療	<ul style="list-style-type: none"> ・眼科や耳鼻科が町内にほしい。歯科医ばかりが増えている。 ・救急や夜間における医療体制を充実させてほしい。 ・町内に医療施設が少なく町外に行かざるを得ない。高齢者に優しい医療体制をとってほしい。
高齢者福祉・介護予防	<ul style="list-style-type: none"> ・一人暮らしの高齢者に対して、体調確認等の積極的な声掛けをしてほしい。 ・高齢者が参加できる運動教室等のイベントを増やしてほしい。併せて、送迎も充実していると良い。
児童福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・子供が遊べる施設を充実させてほしい。 ・子育て支援制度を充実させてほしい。
【観光、歴史・文化分野】	意見数：132
国際観光	<ul style="list-style-type: none"> ・水族館が無くなってから観光客が減っている気がする。 ・リピーターを増やす取り組みが何かできないか。 ・新しい観光スポットの開発をするべき。
交流事業	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと高齢者など、年代で区別することなく交流できる場がほしい。 ・地域コミュニティが弱体化しているので、より活性化する必要がある。
【産業振興、行政運営、コミュニティ分野】	意見数：115
住民参加	<ul style="list-style-type: none"> ・もっと若い世代の声を聴く機会があるべきではないか。 ・町の政策や取り組み状況など、もっと町民に分かる形で情報提供してほしい。 ・町の発展には町民や地域との協力が不可欠である。
行財政	<ul style="list-style-type: none"> ・観光に特化せず、生活者目線のまちづくりを進めてほしい。 ・高齢化に伴い今後必要不可欠となる「福祉、医療」に対する予算配分を考えてほしい。

松島町長期総合計画
後期基本計画
【概要版】

集い、学び、働き、笑顔あふれる美しいまち 松島



宮 城 県 松 島 町

〒981-0215 宮城郡松島町高城字帰命院下一19番地の1

TEL 022-354-5702 FAX 022-354-3140

E-mail info@town.matsushima.miyagi.jp

URL <https://www.town.miyagi-matsushima.lg.jp/>